

大学の世界展開力強化事業 構想概要 明治大学

【構想の名称】(選定年度24年度・申請区分(I))

日本ASEANリテラシーを重視した実務型リーダー育成プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

たくましい「現場力」および日本と東南アジアに関するリテラシーを持って、将来、ビジネスパーソン、ジャーナリスト、建築家、NGO、公務員など多くの実務分野で国・地域を跨いだ懸け橋となりうる実務型リーダーを、日本とASEAN諸国の双方に育成。

【構想の概要】

国際共同コンソーシアム内での共同教育プログラム、ASEANサテライトキャンパスでの各種プログラム等、長短期様々な教育プログラムを通じて、5年間で日本人送り出し500名及びASEAN側学生受け入れ500名、合計1,000名の交流を目指す。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

○ ASEAN各国トップ校との連携

ASEAN大学連合加盟校を中心とする各国トップ校(7か国16校)との連携。

○ 質保証のためのコンソーシアム運営体制

- (1) 構想実施担当者による運営委員会の定期的実施と総括会議の隔年実施。
- (2) 国際大学連盟(IAU)の外部評価(アドバイザーサービス)を活用。
- (3) 明治大学国際教育研究所で高等教育の質保証を研究。

○ 教育の質向上

- (1) 単位認定/学位授与に至るプロセスの明確化。
- (2) 国際標準での教員採用。
- (3) FDによる教員の資質向上。

(チュラロンコン大学との建築共同ワークショップ)



■ 交流プログラムの内容、今後の開始に向けた準備状況

(サテライトキャンパス入居ビル)



○ 国際共同教育コンソーシアムの形成

コンソーシアム大学とは従来から豊富な学生交流の実績。本構想の推進に関しても参加16校全てと協議中、うち10校からは意向確認書(LOI)も取り付け済み。

○ ASEANサテライトキャンパスの設置

バンコク中心部にサテライトキャンパスを設置(2013年春開設予定)。

○ 日本語・日本文化交流(SEND)の実施

タイでのSEND実施について、現地中学・高校、日本語学校等と合意済み。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

既存短期プログラムによる送り出し強化、ASEAN側連携大学での短期プログラム新規開設、同連携大学への交換留学送り出しの強化、SENDプログラムの開始等により、日本人学生の派遣を拡大。

○ 外国人留学生の受け入れ

既存短期プログラムによる受け入れ強化、ASEANサテライトキャンパスでの授業開講、同サテライトキャンパスでの学生合同研究セミナー開催、本学夏期・冬期短期プログラムへの受け入れ枠拡大等により、外国人留学生の受け入れを拡大。

	H24	H25	H26	H27	H28
学生の派遣	50人	75人	100人	125人	150人
学生の受入	50人	75人	100人	125人	150人

注)申請時の計画

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ 全学的推進体制の構築

構想推進のための専従者を配置して、在籍管理や情報提供の強化、日本人学生のサポート強化、受け入れ留学生の履修サポート強化などを実施。

○ 単位互換の促進

コンソーシアム内での単位相互認定を促進するため、国際的単位互換システム(ACTS/UCTS)を活用し、これに則った証明書の発行や読み替えを実施。

■ 教育内容の可視化・成果の普及

○ 国内外への情報提供方法・体制

本構想の取り組みや成果は、ホームページ、広報誌、国際シンポジウムなどを通して、多言語により国内外の大学や産業界に積極的に情報発信。